

No.

1

 /

2

2020年4月入学 創造理工学研究科修士課程技術経営リーダーAO 入学試験問題

経営デザイン専攻

科目名: 小論文

以下の文章を読み、問題1, 2に答えよ。

2030年までに持続可能な世界を実現する事、地球上の誰一人も取り残しにしない事（Leave no one behind）を大きな目標とし、2015年9月の国連サミットで採用された「持続可能な開発目標」と訳されるSDGsは、17の目標（ゴール）・169のターゲットから構成されている。その17のゴールは図1に示される。

日本および日本企業のSDGsに対する取り組みは、環境保護／CSR活動への取り組みなど、断片的で個別課題への考慮や対応が多く、SDGsの狙う包括的な観点・施策が不足していると言われている。



出典：国際連合広報センター、「2030 アジェンダ」（日本語）。

図1. SDGs 17の目標

17の目標すべてに対する施策を立案することは、多くの労力・時間を要するため、企業においては、自業界・事業や自社に特に関連するゴールを選択し、具体的施策を考慮することがよく行われる。

例えば、移動手段すなわち自家用車や商業車のみならず、バス、鉄道、船舶、航空機などの製造業では、『12：つくる責任 つかう責任』の目標に対しては「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」が具体的方策と考えられ、耐用年数そのものを延長したり、リユース・リサイクルを考慮した設計をしたりといった活動がなされている。また、『7』の目標に対しては、クリーンなエネルギーの供給かつ効率的な使用、廃棄の際の有害物の減少などが施策として挙げられる。

2020年4月入学 創造理工学研究科修士課程技術経営リーダーAO 入学試験問題

経営デザイン専攻

科目名: 小論文

[問題 1] SDGs は何の略称か、フルスペルを記せ。

[問題 2] 外食産業を対象として、SDGs の次の 3 つの目標に対して、

A: 現在発生している問題・事象、

B: それに対する施策、

C: その達成評価のための KPI のアイディア

をそれぞれ示せ。

(小問 1) 『目標 8: 働きがいも 経済成長も』

(小問 2) 『目標 12: つくる責任 つかう責任』

(小問 3) 『目標 14: 海の豊かさを守ろう』

<参考>

外食産業内食品ロス

(農林水産省 大臣官房統計局 平成 29 年度食品循環資源の再利用等実態調査報告)

仕込み過程	2%
仕込みすぎ	33%
流通・保管	2%
食べ残し	57%